



祝

里だより

No.393

令和6年10月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579

おかげさまで
33周年を迎えることが
できました。
日頃より皆様に支えて頂き
感謝申し上げます。



十月号もくじ

(ページ)

施設長より……………1

サビ管より……………3

主任より……………4

職員より・調理場より……………5

サービス向上委員会より……………

行事報告……………6

研修報告……………8

行事予定……………

ありがとうございました……………

編集後記……………9



施設長より

外へ



暑さ寒さも彼岸までと言いますが、熊本は随兵寒合。藤崎宮の秋季例大祭が終わるころに秋の到来と言われます。朝晩はやや過ごしやすくなったようですが、日が昇ると空気が一変。じりじり日差しが肌を刺します。寄稿している九月中旬過ぎにも天気予報には真夏日や猛暑日、新聞紙面には熱中症で緊急搬送の文字が並んでいます。

今夏、他施設より届く多くの広報誌に、猛暑の影響で、外で行う日中活動の変更を余儀なくされたことが載っていました。当施設も例外ではなく、利用者さんは外周強歩をずいぶん控えました。約十年前まで、八月一日の開園記念日に夏祭り大会を行っていました。設置の準備はもっぱら日中。炎天下の中、手作りで単管パイプを組み合わせてステージや櫓を建てていたことが思い起こされます。保護者会も協力日を設けて、お父さん方には、テント設置や長椅子の作成をお手伝いいただきました。今では、絶対に出来そうもありません。熊本の二〇一四年八月の最高気温の平均が、三〇・七度。今年は三十三・二度。単純に差を比較しても二・五度の上昇。気候変動の影響で特に夏の暑さが厳しくなっているため、来夏も熱中症対策が益々深刻になりそうです。

例年、今から迎えるインフルエンザの時事には外出を控えようかとの声も上がりますが、夏場も外出を控えるとなると日中活動の内容自体を考え直さなければならぬのではないかと危

惧しています。

さて、昨年コロナが五類になったものの、通常の体制に戻すための本格的な取り組みは、今年度からといったところです。新しい職員を迎え、徐々に利用者さんの支援にも慣れてきて一人で任せられることも増えました。会議においても、利用者さんを思っている意見をきちんと述べていて頼もしく思えます。イベントや外出などにも取り組んでもらっています。福祉のイロハを覚えるのは大変かもしれませんが、支援員としての経験を重ね、想いを積み上げてくれると、支援に厚みが出てくるのだと思います。

先輩たちも丁寧に教えてくれているようで、OJTといわれる職場内研修は、実践的で即戦力になる内容です。利用者個人に合わせた接し方はスキルを磨くにはもってこいです。昨年と違うのは、施設外研修（OFF-JT）が増えたことです。わざわざ遠方まで出向かなくてもよい講義形式の研修は、オンラインで済ませるなど、コロナ禍において便利になったところですが、「職員は外に出なければならぬ」というのが個人的な意見です。特に入所施設の職員ほど、視野を広く持つために、外に出ていろいろな人に出会って話して聴いて感じてほしいと思っています。特に、コロナ禍に入職した職員は、比較的この経験が不足しているのも事実です。人材不足により、一般企業も対外研修に出す余力がないと耳にしますが、ありがたいことに当初予定していた研修には出せています。また、研修担当者も私の方針を汲み取ってくれて、職員が習得し、利用者支援に生かされる研修・出張を取り入れてくれています。上司も部

下に参加してほしい研修を答申してきますが、参加する際にはなぜその研修を受講させるのか、研修の主旨をきちんと説明するように指示しています。研修企画をしてきた経験からすると、この主旨・目的の作成に意外と時間を費やします。どのような研修が必要か、多くの方に参加してもらうにはどのような文言にするか、どうすれば目に留まりやすいかなどに頭を悩ませます。参加する職員も「上司から言われたから行ってきた」の出張ではなく何を求められているのかを把握して臨んでもらいたいです。

この他、研修には自己啓発（SD）があり、自主研修等補助金規程を設け、自己研鑽を積んでもらっています。利用する職員は、自己覚知をしたうえで自分に足りないもの、利用者支援に反映させたいなど、明確なビジョンをもって取り組んでくれています。

実際のところ元の状態に戻すには、時間もお金も人もかかりますが、コロナ禍で失った時間を取り戻すつもりで進めています。知識もスキルも想いも経験も積み重ねる意気込みで下期をスタートします。



施設長 松永 一博

施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



～いきいきグループ調理実習～

かき氷美味しかったよ！（*^▽^*）

サビ管より

第三者評価の受審

九月二十四、二十五、二十七日の三日間で、特定非営利活動法人あすなる福祉サービス評価機構による第三者評価を受審しました。

令和元年度の前回受審時にもお世話になりましたが、丁寧かつ細やかな調査と、明確な評価を頂戴したことで、今回も依頼することと致しました。

前回の評価より、継続すべき事は更なる発展を目指し、不足している事はどこに問題があるのか、何を解決すべきなのかチェックを繰り返し、現在に至っています。

例えば、現在稼働しているサービス向上委員会も前回の評価をもとに、サービスの質を高めていこうと取り入れた委員会です。

食事や入浴等、日常生活におけるサービス、地域社会の資源活用、権利擁護等々、より良いサービスが提供できるような、目的や目標を掲げ開始したことを覚えていきます。委員会を発足し五年が経過したことになりましたが、この期間においても更なる充実を目指そうと、支援者が良いとして実践するような職員主体の考えではなく、利用者さんにとってどうなのかを何事にも問うようにしてきました。今でも十分とは言えませんが、自ずと意思決定支援を行っていたり、利用者さんの生活そのもの



をより深く見つめることが出来るようになったり、職員のスキル向上にも効果があったと感じています。

今回も、利用者さんの日常や行事の様子、利用者さん、ご家族、職員への聞き取りなど、様々な角度から調査して頂くため、何度も施設へ足を運んでいただきました。そのたび利用者さんにも声をかけていただくことで、利用者さんからも次第に「いらっしゃい」「久しぶり」といった親しみのある関わりを目にするようになりました。利用者さんからの意見や想いも多く引き出してもらえたことと思います。

評価結果は十二月頃になりますが、前回と同じように見直すべきところは改善し、利用者さんの満足度をより高めていきたいと思えます。また、地域に根差したつくしの里であることを基本に、新たな形で地域に貢献できるように、理想を見失わず努めて参ります。

支援課長 今田 有哉



主任より

チームワーク



主任になって、もう何年経つでしょうか…。
初年度は、とにかくやるべきことを進めていくのみで、部下育成などに手が回るはずもなく、しかしながら淡々と仕事をしていたように思います。

主任二年目になると、視野が広がり気付きも出てくるために、躓いたり滞ったりすることが出始めました。私の場合はその時のチームの職員に恵まれていて、それぞれが自分で動いてくれたため、部下育成に特に困ることがなかったように記憶しています。

様々な試練と苦悩を得て今に至りますが、能力不足と主任に不向きなことだけは変わらず：日々勉強です。

私が所属する班は、一名の新職員を除く他全員が三年目以上の職員です。恥ずかしながら、チーム内の報連相が不十分であったり、私が多くを語らず充分に言葉でのやりとりをこなさなかったりしたことで誤解が生じ、今年度に入りチームワークが乱れてしまいました。しかし、これは今年度になって悪くなったのではなく、今までできていなかったことが改善されないまま、チーム内の不満が蓄積して悪化した結果だと思っています。忙しさを理由に、対応が遅くなったり、対応すらできていなかったりしたことの自覚があります。

今回、その後の対応として、①対象となる職員間で話し合いの場を設ける、②班内の勉強会としてチームワーク・報連相に関する動画視聴で各自学ぶ、③その学びをベースに会議内で班職員に①のフィードバックを行う、という方法をとりました。

改善へ向けて各自が意識して動き始めたところであり、まだまだこれからです。不満に思っていたことを公の場で感情的にならずに言葉を選んで相手に伝え、今後どうしていこうと思いかまで言葉にすることで、班全員が証人になり、実行せざるを得なくなる状況ができました。報連相も意識して、やりとりが増えてきたように感じます。

その時に生じている歪に逸早く気付き、改善へ向けた対応を具体的にできるか。今だけではなく、各々の改革意識を継続するために、現状に満足せずより良い状態を目指すために、思い切ることで、統率力、チームメンバーの心身面まで気付けている面はサポートすることを大切にします。また、各職員の特徴をお互いが理解しつつ、思いやりをもった言動をとり、批判ではなく「どうすればできるか」を考えることができるチームでありたいと思います。



主任支援員 中尾 麻里子

職員より



突然ですが、「趣味は何ですか？好きなものは何ですか？」と聞かれた際、すぐに答えられるものが何かありますか？私はこの質問をされた時、好きなものはそれとなく答えられますが、趣味についてはすぐに答えられません。理由はいたって簡単で、深く考えすぎる性格によるものです。「好きだけど趣味って程じゃないよな。いやいやそもそも趣味って言えるほどのものでもないよな。」と考えている事が多く、聞かれた時は困ってしまいます（笑）。

利用者支援をしていく中で、「この人は何が好きなんだろう。得意な事、趣味は何があるだろう」とふと考えた事があります。つくしの里ではどぎゃん会を毎月実施して、利用者さんの意見を聴く場を設けています。自身で言える方は色んな事を話してくれます。その中で、自身でなかなか伝えられない方が何を思い、考えているのか、どのようにすれば意見を聞けるのか等々、工夫しながら取り組んでいますが、私と同じようにすぐに答えられない方も中にはいらっしゃるのかもしれない。

疑問ばかり持ってなかなか解決には至っていませんが、一支援員として利用者さんと様々な経験、体験を一緒にしながら趣味や好きな物を見つけ、一緒に楽しめる関係性を目指し頑張っています。（支援員 松尾り）

つくしの里に入職し、半年が経ちました。入職してからは、先輩職員がつきっきりで指導して頂き、何度も失敗や成功を積み重ねることで、ようやく独り立ちする事ができました。まだまだ不安や緊張もありますが、多くの利用者さんが気さくに話しかけてくれたり、私を頼ってくれると、自然と笑顔になり「この仕事を頑張りたい！」と思えます。

これからも、様々な事を経験していく中で、自分の糧となるように一生懸命頑張りたいと思います。（支援員 八木）

調理場より



今年度の嗜好調査は、「朝食について、おかずについて、丼物について」お聞きしました。朝食に食パンの日がありますが、いちごジャムやはちみつを抑えて半数の方がチョコジャムを選ばれていました。どの年代でもチョコが人気です。飲み物は、牛乳、ジョア、みなさんそれぞれでしたが、40代以上の方にはコーヒー牛乳が人気で、全体の4割の方が選ばれていました。日頃から「明日はパンね」「飲み物はコーヒー牛乳ね」と声をかけられます。みなさん楽しみにされていますので誕生会のケーキ、デザート等にチョコレートやコーヒーを使ったメニューを取り入れたいと思います。また、つくしの里ではぜんざいも人気です。暑い時季は冷やしぜんざいにして提供しています。

嗜好調査をすると食べたくないものに「野菜」と回答されますが、苦手なものでも残さず食べられます。今回の結果を参考に、利用者さんのリクエストも取り入れながら、おいしい食事を提供していきます。（管理栄養士 奈須）

サービス向上委員会より

■ イベント【主任支援員 中尾・支援員 尾崎か・井・牛島】

毎年、夏を中心に花火大会やかき氷会を実施していましたが、今年度は猛暑により実施するには暑すぎるため、時期をずらしました。コロナ流行に伴い中止になったスイカ割り大会は、偽物のスイカを作り、9・10月で各班のレクリエーションに取り入れます。

昨年度からはフロスタドーナツさん、今年度からは阿蘇天然アイスさんに販売に来ていただき、利用者さんが自分で見て好きな物を選ぶことを大切に進めています。食べ物系は特に好評で「次はいつ来ると？」と利用者さんからは毎月楽しみな声が聞かれ、お店の方からは「障害をお持ちの方と接する機会がなかったため、勉強になります。嬉しいです」と嬉しい声が（^^）。様々な機会を設けることで理解を広められればと益々意欲が沸きますし、もっともっと充実する楽しいイベントを取り入れたいと思っています。



行事報告 ※ 8/21（水）～9/20（金）の実施分について報告いたします

★ 開園記念祭【9月3日（火）つくしの里】

本来は33周年記念日であった8月1日に実施する予定でしたが、感染症対応により、やや規模を縮小して、9月3日に開催いたしました。Iさんの元気な開会宣言とくす玉割りからスタートすると、午前中は帽子を自由自在に扱うパフォーマーのマルテドンが登場しました。ジャグリングが得意な方で、帽子が生きているかのように、どんなにクルクル回っても最終的には頭に戻っていくような感覚になり、利用者さんも大歓声。メインの足元が不安定な中でのナイフのジャグリングも圧巻の一言でした。気さくな方で写真撮影や利用者さんの握手攻めにも優しく応じて頂きました。

お昼はお祝い膳。豪華な料理に満面の笑顔がたくさん見られました。午後の部は昨年引き続き、MAIMOTTOのキッチンカー。甘い物は別腹とはよく言ったもので…皆さん食事で満足していたにも関わらず、次々に列ができていました。暑かった事もあり、今年初登場のさつまいもソフトが大人気で、一番に売り切れていました。

外部の方も含め、皆様のご協力でもっと満足度の高いイベントになりました。これからも開園祭に限らず、楽しい行事を企画していきたいと思えます。（支援係長 井上）



★ 敬老会【9月13日（金）つくしの里】

4名の利用者さんが新たに敬老対象者の仲間入りを果たされ、いきいきグループ11名、きらめきグループ14名（計25名）がお祝いを受けられました。

本年度は、グループごとに分かれ敬老会を行いました。いきいきグループは、傘寿(80歳)・古希(70歳)を迎えられた2名の利用者さんを中心に、あたたかい雰囲気の中お祝いをする事が出来ました。利用者さんからも「おめでとうございます！私も頑張ります！」との言葉と歌をいただき、ほっこりした気持ちになりました。きらめきグループは、利用者さんからのお祝いに加えて、3班から出し物の披露がありました。紅白の花紙の冠をかぶって、ポンポンを振りながら「フレーッ！フレーッ！」と敬老対象者に向けて元気な応援をいただきました。つくしの里もご高齢の利用者さんが多くなりました。みなさんがこれからも健康に過ごせるよう日々支援をしていきたいと思えます。

また、今年度も保護者会より馬場区の敬老対象の方へお茶のお祝いを頂きました。お弁当と一緒に配達をし、「毎年ありがとうございます」と嬉しそうに話をして下さいました。昔と比べると、地区の方との交流が少なくなりましたが、今後もこのような機会を大切にしていきます。
(支援員 後藤)



★ 生活介護班③班外出【9月17日（火）阿蘇ミルク牧場】

事前にどこに行きたいか、利用者の皆さんに写真などを見て選択してもらい、計画しました。当日は資料を見ながら日程を説明。動物の写真より食べ物の写真に興味津々の方が何人か…（笑）。

絶好のお出かけ日和で、真夏日だったこともあり暑さにバテないか心配でしたが、帽子をかぶり、笑顔で牧場内を散策し、動物の餌やり体験やレースを見学する事が出来ました。

昼食は待ちに待ったバイキング。皆さん美味しい料理を好きなだけ食べて、飲んでお腹いっぱいになりました。食後は牧場内の遊具で遊び、ソフトクリームを食べて帰ってきました。「また行きたいね！」「おいしかった！」と利用者さんに言われ、楽しい外出になった事を嬉しく思います。今後も楽しんで参加できる外出を計画していきます。

(支援員 松尾)



研修報告

※ 8/21 (水) ~9/20 (金) の研修について報告いたします

◆介護福祉士実習指導者講習会【9月1日(日)・7日(土) 熊本市流通情報会館】

8月から4日間、介護福祉実習指導講習会に参加させていただきました。支援や介護で利用者の生活全般のケアを行うことは人生の一部を担う重要なケアになる為、介護福祉士は、専門的知識を伝達する役割を果たす国家資格であることを強く言われました。また、利用者のケアを行う喜びや楽しみも併せて伝えていくことが、今後の介護や支援など福祉社会の構築には必要なことだと感じました。働きやすさ、人間関係も実習・現場体験を通して感じてもらうところですが、希望や尊敬の念をもてるような関わり方ができれば、更に利用者援助の喜びが増していくとの話がありました。実習生にとって現場体験は、養成学校以上に重要なインパクトのある場面になることと思います。その人の人生を決めるひと時だと思うと、施設としてそうした認識をもって実習生を受け入れる準備は本当に大切なものだと感じました。指導者といわれるスキルはこれからですが、学んだことを実践に移していきたいと思っています。

(主任支援員 池田)

◆全国グループホーム等研修会【9月12日(木)・13日(金) 神戸メリケンパークオリエンタルホテル】

グループホームが制度化されて30余年が経過し、当時は「自立している者」の「地域での暮らしの場」として整備が進められました。当施設も平成13年に「つくしのこ」で女性利用者4名からスタートしましたが、現在では「つくしんぼ」と「すぎな」に男女15名の利用者さんが生活されています。

今年度4月の制度改定では「一人暮らし生活」や「パートナーとの生活」を希望する方々への支援も推進していくことが明示されました。利用する方々が多様化し、障がい特性も年齢やニーズも、その範囲が拡大していく中で、当事業所も適切な支援を行う上で必要な知識や技術を習得し、また安心して生活するためには何か必要なのかを考え、人的・物的環境を整え、利用者さんが望む暮らしの実現に向けて真剣に取り組みをすすめていかなければと思いました。

(主任支援員 長淵)

行事予定

10月



☆ 大津町福祉まつり（大津町役場周辺）

期 日：10月20日（日）

内 容：職員が焼きそばを販売します。是非遊びに来てください♪



☆ 秋の里まつり（つくしの里）

期 日：10月26日（土）午前10時30分～

内 容：令和2年度からコロナの影響で規模を縮小して行ってきましたが、今年から地域の皆様に招待して従来通りの秋まつりを開催します！つくし名物の焼きそば、カレーなどのバザーやキッチンカーの出店があります。一般の方も大歓迎です!! 皆様のご来場お待ちしております(^▽^)/



ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和六年八月二十一日～
令和六年九月二十日です

【寄付・寄贈】

- ・岩根 治美 様
- ・高宗 良子 様
- ・田代 栄助 様
- ・梅田 彰 様
- ・古庄 澄代 様
- ・相談支援事業所 いちばん星 様
- ・清田 すま子 様
- ・竹山 眞事 様
- ・田上 恵子 様
- ・中山 香代子 様
- ・毎床 用司 様

【ボランティア】

- ・村里 和洋 様
- ・カモメ 様
- ・木本 ふじ子 様
- ・トキコロ 様
- ・丸山 典子 様



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

上半期も足早に過ぎ去り、下半期に入りました。コロナ前の日常に戻りつつあり、にぎわいが出てきて嬉しい反面、コロナ前の日常の忙しさに恥ずかしながらついていけない時があります。今年、秋の里まつりは大規模で開催するの、初めて参加する不安はあるものの、楽しみでいっぱいです。つくしの里の皆で盛り上げていきたいと思えます。



最近カメラを購入されたKさん(^-^)
素敵な写真を沢山撮られます♪♪